

■山川発電所・周辺の植生状況

発電所は薩摩半島南端の平坦な畑地に位置し、周辺に樹林地がほとんど分布しないことから、発電所の建設・供用に伴う周辺植生への影響はみられない。



発電所の北方向。生産基地 A の手前は帯状の樹木植栽地。



発電所の北東方向。周辺は畑地で遠方の山地の森林が見える。



発電所の南東方向。H 基地予定地の向うは畑地と竹山。



発電所の南南東方向。H 基地予定地は草地。



凡 例	
—	発電所敷地境界
■	生産井
■	還元井

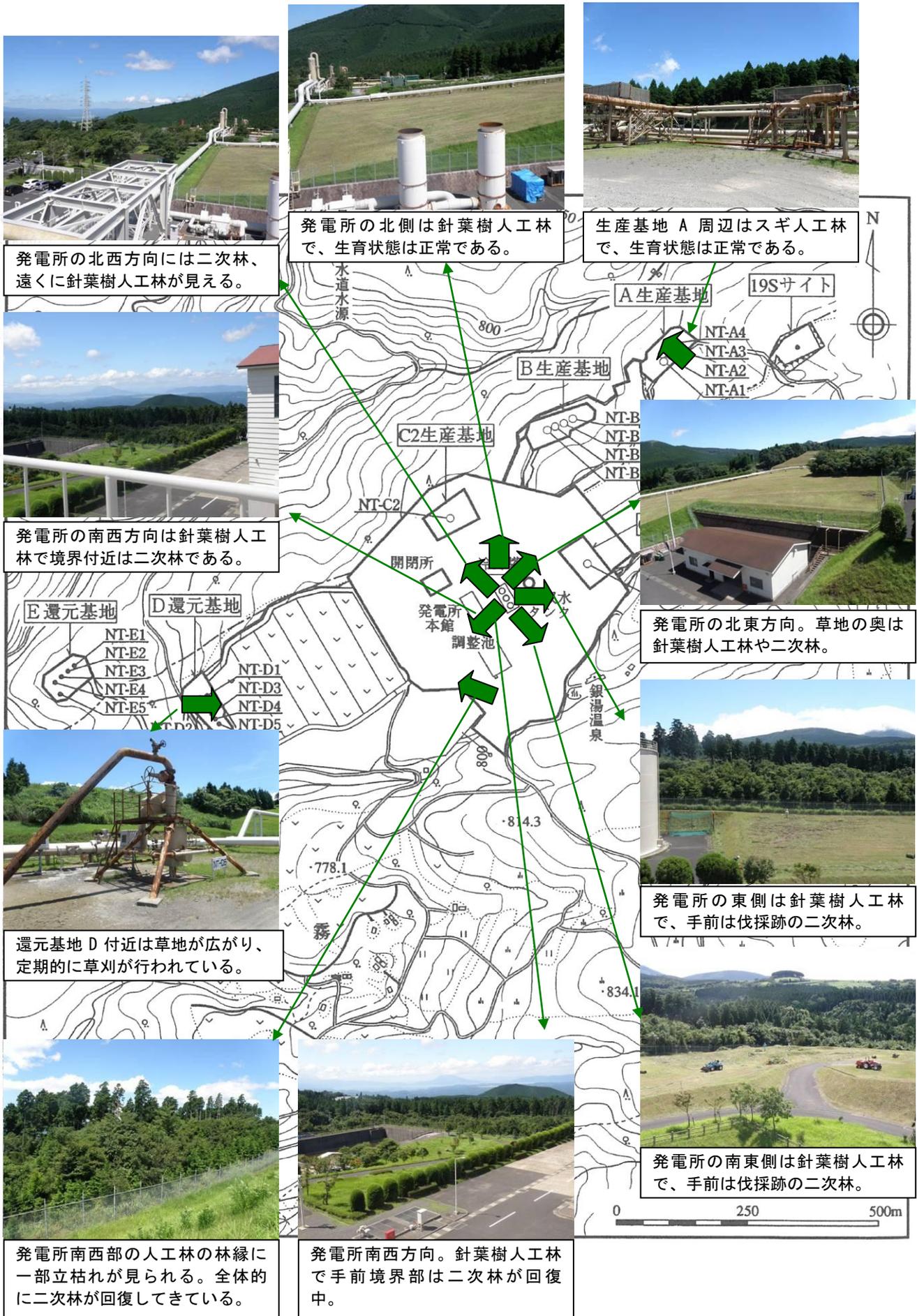


発電所の西方向。遠くに開聞岳が見える。手前は丘陵地の畑地。



発電所の南西方向。還元基地 B の向こう側は畑地。

■大霧発電所・周辺の植生状況



■大霧発電所・構内の植生状況



発電施設周辺の修景植栽。植栽は疎らで草地在広い面積を占めている。



発電所本館の周囲はヒムロスギの列植で修景植栽されている。



冷却塔周辺も本館と同様に修景植栽されている。



発電所本館玄関付近の修景植栽。高木はケヤキ、クヌギ、イロハモミジ、低木はツバキ、アセビ、ツツジ類。



本館近くの園地。ケヤキなどが疎らに植栽され緑陰を形成。



調整池周辺の修景植栽。クヌギ、イロハモミジ等の落葉樹主体。



発電所南東方向の施設予定地。夏季の草刈作業中。



調整池周辺の法面。マルバハギが生育するが、導入されたか、あるいは法面吹付の際に非意図的に入ったものとみられる。



同上。法面は広さ・高さとの比較的大きく、敷地内で目立つ。



同上。樹種はその他ツバキなどがみられ、疎らな植栽。